

夢窓幼稚園通信 第6号

2020年4月30日

花がいっぱい咲いたので、しげみちょうやくまんばちがやっています。イチョウの葉っぱも毎日大きくなって、すっかり一人前になりました。ラブリーな花壇(デッキにある小さな花壇)では、フキが葉を特大に広げていて、その中でアンネのバラが咲き出しました。
春たけなわです。

草花だけでなく、動物たちも動きが盛んです。

鳥たちが卵を産む準備に忙しそうです。

カラスは、最後にはあきらめたようですが、仔ょうの木のてへんに試みようとしていました。

昨年雛をかえした九鳥が今年もソフトクリームの木に巣を作りかけています。

何年かぶりに、つばめがさくらぐみの廊下の上の電灯に、土の固まりをくり返し運んできて、マイホームをつがいで建設中です。
びっくりしないように、静かにそっと見守ることにしましょう！



人の世界は、なかなか思うように動けず。

今後の見通しが立たない春です。

尊い命を落とされた方々、仕事を失ったり大きな打撃を受け困境の中にある皆さんも少なくないでしょう。

学校や幼稚園が休校・休園をせざるを得なくて、子どもたちも友だちと一緒に過したくて仕方ないに違ひありません。

ご家庭も大変でしょう。

そのような中、お家の皆さんから、そして子どもたちからたくさんのお手紙や言葉をいただきました。

・はやくようちえんにいってかすたたいどうをたのしくじたいです
ああばっちの～より

・(先生たちから子どもたちへのお届けの遅の遅のプレゼントが届き)
～せんせい やってみてね。はさみとのりをつかってね♡

・私たちは厳しい冬を耐え、春を待つ草花のようにじっとその時を迎える準備をする時期なのかもしれませんね。……
……共にまた穏やかで喜び溢れる日々が送れることを祈っております。

幼稚園がお休みの間も、私たちの中には、夢窓の時間が流れているように感じてあります。
新入園児さんにも、これからいっぱい夢窓を感じていただけますように…みんなで、あたたかく集えますように…より頑い祈りながら、日々の時間をのんびり楽しくすごしてあります。

…
じがあたたかくなり、勇気が湧いてきます。
なかなか厳しい春ですが、そんな時でも夢と希望と願いを持ち続けていたいと思います！
できる限りのことをしていけるように、あきらめずにていねいに思い熬らしてみたいと思います♪

※片付けをしていたところ、以前に書いた文章に目が止まりました。1992(平成4)年、それまで土曜日まであった学校や幼稚園が秋から土曜日なしの五日制(週休二日制)が導入された時の検討中の文章です。

いつでも、今回の状況に身を置く私たちにもつながっていろ気がしたので、引用してみます。

みなさん、こんな体験をしたことが、きっとおありのことだと思います。

どう解決していいか、何から考えていいかさっぱりわからない問題に出会ったときに、すぐに求める答えもでずに、それでもしつかりその問を親鳥が卵を抱くようになかえていると、ある日小さな光が心の内に射し込んで、明るく開けた光景の入口に立っている自分に気がついた、というような出来事です。それは他にたとえようのないよう、闇と光の織りなす中間点にまさしく立っているとう、不思議な勇気を感じる時です。

問題が大きいのか、小さいのかは、むしろどうでもいいことです。他の人が外から、大きいとか小さいとか決めることでもありません。どのくらい真剣に、純粹にある問題に関わろうとしているのか、その姿勢の中からだけ生まれてくる体験なのであります。全ての問は心深くで求められるなら、世界全体にもつながることがらです。どんなに大問題に思われても、外に見える事だけに関わったり、もう既にした経験の中から答えを選び出そうとした瞬間、不思議な体験になる魔法の鍵は消えてしまうかもしれません。

私たちの中に立ち現れてくる思いや考え方や、意志の萌芽から生じてくるひとつひとつのことが、あるべき道をたどってよき成果をもたらしてくれることを信じてみたいと思います。

園長 午光泰雄